

資料 1

日本精神神経学会 精神保健に関する委員会

自殺予防に関する活動まとめ

2021年12月

1. 「日常臨床における自殺予防の手引き」の作成

- 2013年3月25日発行
- 学会員全員に配布（精神神経学雑誌 115 巻 3 号付録）
- HP にも PDF データで掲載。冊子も販売中。
- 2022 年度に改訂版発行の予定

2. 精神神経学雑誌の論文等掲載

年度	巻(号)	テーマ
2014年	116(8)	日本精神神経学会が自殺対策に果たすべき役割とは
2016年	118(1)	特集「各領域から考える自殺予防と精神保健 —大学、病院、企業における現状と課題—」
2017年	119(6)	特集「自殺ハイリスク者の支援について考える—ゲートキーパーがつかない先の支援はどうなっているのか—」
2019年	121(11)	特集「精神科一般外来での自殺予防について考える」
2021年	123(3)	日常精神医療が自治体の自殺対策計画に貢献できること

注) 上記は精神保健に関する委員会によるもののみであり、学会全体では自殺予防に関する論文や資料が他にも掲載されている。

3. 学術総会でのシンポジウム、ワークショップ等

年度	総会	テーマ
2009年	105	シンポジウム 25「職域・地域連携の自殺対策」
2010年	106	シンポジウム 18「自殺予防と精神保健医療の役割」
2011年	107	シンポジウム 28「自殺対策と精神保健」
2012年	108	シンポジウム 22「精神科医療における自殺予防」
2013年	109	シンポジウム 37「日本精神神経学会が自殺対策に果たすべき役割とは」
2014年	110	委員会シンポジウム 8「自殺対策のための戦略研究の成果（第一報）」
2015年	111	委員会シンポジウム 19「各領域から考える自殺予防と精神保健～大学、病院、企業における現状と課題～」

2016年	112	委員会シンポジウム 10「自殺ハイリスク者の支援について考える～ゲートキーパーが繋いだ先の支援はどうなっているのか～」
2017年	113	ワークショップ 15 「複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ」
2018年	114	委員会シンポジウム 8「精神科一般外来での自殺予防について考える」
		ワークショップ 4 「複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ」
2019年	115	委員会シンポジウム 23 「日常精神医療が自治体の自殺対策計画に貢献できること」
		ワークショップ 11「 複雑事例を通して学ぶ自殺予防のエッセンシャルズ」
2020年	116	委員会シンポジウム 16 「子どもの自殺を防ぐために精神科医ができること」
		ワークショップ 12「最近の自殺問題の動向と自殺予防医療」
2021年	117	委員会シンポジウム 33「コロナ禍での自殺の増加について」

4. その他

- 委員会を定期的で開催し、年次学術総会での企画を始め、会員の教育・研修に努めてきた。
- 2013年、2014年に日本うつ病学会、日本自殺予防学会との共催で「日常臨床における自殺予防の手引き」を資料の一つにして研修会を行った
- 2022年1月、自殺予防をテーマとした記者勉強会を開催予定。